



たつみっこのための

# すたなび

NO. 22

辰美小学校

## 心ゆたかな冬休みに！ ～家庭でできる国語力アップ～

充実の2学期も明日で終わります。冬休みは、各家庭での生活が中心となります。各学年では、学習・生活・お手伝いなど、子どもたちが自分で考えた冬休みの計画を立てています。自分の考えた計画をやり遂げさせることは、計画性や自立する力を高めることとなります。

特に、早寝・早起き・家庭学習の習慣は躰と同じです。「躰＝し続ける」からできるようにするものだと思います。子どもたちが、ご家庭でしっかりと生活ができるように言葉かけをお願いします。

子どもたちと一緒に年末年始の準備をしながら、日本の伝統文化について実践したり、楽しく語り合ったりしてみてはいかがでしょうか。

冬休みが子どもたちの生活をより確かにさせ、心を豊かにしてくれることを心から願っています。



### 国語力アップ作戦Ⅰ

#### 子どもは本が好き(2)…親子読書のすすめ…

ご家庭で、親子読書を行うことは、子どもにとって本との出会いがあり、読書の時間として有意義であるばかりでなく、本を通じた家族の心のふれあいとなり、お子さんへのなよりのプレゼントであると思います。

- ＜親子読書の方法＞
- ・子どもに本を読んで聞かせる。
  - ・子どもが読むのを聞いてあげる。
  - ・一緒に同じ本を読む。
  - ・違う時間に読んだ本について語り合う。

※それぞれのご家庭にあった方法で、取り組んでいただければと思います。

「食べ物は体の栄養となり、読書は心の栄養となる」という言葉があります。親子読書を通して、心の栄養をとっていただければと思っています。

### 国語力アップ作戦Ⅱ



#### …クリスマスに本のプレゼント…

#### ◇本が読みたくなる工夫◇

クリスマスというと子どもも大人もファンタジックな気分になります。クリスマスにまつわる読み物は世界中に数多くあり、「クリスマス・キャロル」や「賢者の贈り物」など心を和ませる名作も数多くみられます。そこでお子さんへのクリスマスプレゼントにこうした名作を1冊用意してみたいはいかがでしょうか。普段はあまり手にしない本でも、ファンタジックな雰囲気の中では「クリスマスの話なら読んでみたい」という気持ちになるものです。

そして、これがきっかけになって読書好きになるかも知れません。

もっとも、男の子ならファンタジー系の本が必ずしも興味の対象になるわけではありませ

んから、クリスマスに関連する本に限っての話ではありません。むしろお家の方が子どもの頃に読んで面白かった本を選び、その時感じたことを話しながら渡すと興味を持つでしょう。

#### 本を読むプラス面

- ① 語彙（使える言葉の数）が増える。
- ② 思考力が深まる。
- ③ 想像力が高まる。

人は考えるとき“言葉”を使って考える。語彙が少ないと浅い考え方しかできない。逆に言えば、語彙が多ければいろいろな考え方ができる。⇒ 思考力が深まる。

文章を読んで色々な情景を想像したり、書いてある以上の内容を頭の中で考えたりする作業は、本をたくさん読まなければ身につけられるものではないとも考えられています。

小学生にはまだ難しいかもしれませんが、色々な文章を総合して一つの結論を導き、さらにそれに対する自分の意見をまとめる能力が、このところ一段とクローズアップされてきています。そのためには、やはり読書が一番適した学習法であると言われていています。

今年度から実施された新学習指導要領でも、与えられた文章を理解して、さらにそれを発展させながら問題解決に結びつける思考力は、国語だけでなくすべての教科に必要なものとして、これから積極的に学校の学習の中でも取り入れられてゆく方向にあります。

子どもは何かのきっかけがあって、一度その中に飛び込むととてつもない集中力を発揮します。そういった意味では、クリスマスを読書に興味をもたせるきっかけとして利用できれば、お子さんの将来にとって大きな意味を持つクリスマスとなるでしょう。



### 国語力アップ作戦Ⅲ

#### ◇ 家庭学習は親子の会話ができる場所で ◇

低学年はまだ、親にくっついていたい時期。小学校でがんばってきたぶん、帰宅後はくつろぎながら親子の会話を楽める時間が必要です。「ママ、あのね……」「今日、学校でね」と、学校であったことを話すことは学習的にも大切なこと、出来事を言葉で伝えることで、国語力が養われるからです。家庭学習も親子の会話の延長上にあります。子ども部屋に入って一人で勉強できるのは、もう少し成長してからです。

低学年の学習は親が見てあげないと、なかなか身に付きません。子どもの学習スペースは、親の目や声が届く場所にしましょう。ダイニングテーブルでも十分です。



### 国語力アップ作戦Ⅳ

#### ◇ 2学期の学習を総復習 集中学習と反復学習 ◇

まじめにコツコツと勉強している子どもでも、ちょっと前にやったことは結構忘れていく場合があります。子どもは吸収力がすごい反面、脳のしくみとして忘れていくのも早いのだそうです。忘れていたり、あやふやになっていったものを 再び復習を繰り返す事で、「確実に定着」させることが大事です。まとまった時間をとるのに絶好の機会は、何といても長い自由時間がとれる、夏休み・冬休み・春休みです。このまとまったお休みの時に、一定の時間集中してやる “総復習”が大切です。やり方は、その子次第ですが、効果がある方法例を紹介します。

それは、一つの单元ごとのまとめ勉強・まとめ解きです。

例えば、算数の「単位換算」なら、習った内容（リットル、ミリ、デカ、グラムなど）を数日間集中して学習するのです。これが終わったら、今度は「かけ算の筆算」を数日まとめ学習をする、というふうにある单元ごとに集中して勉強する方法です。漢字の復習も集中学習と反復学習で、習ったことを復習しましょう。

どうぞ、よいお年をお迎えください。

